

### ◆子育て支援 高齢者福祉の充実

次に、子育て環境・子育て支援の充実、高齢者の生活福祉の充実、についてであります。

近年、少子化の進行、女性の就労機会の増加などの社会状況が変化してきており、保育や子育て支援、仕事と子育ての両立、さらには幼児教育の充実といった多様なニーズに対応した支援を展開していく必要があります。

町政執行にあたり重点施策の一つとして「子育て支援」を掲げ、経済的に負担の大きい子育て世代の暮らしを応援するため、全国初となる22歳までの乳幼児、児童生徒及び学生を対象に医療費の無料化や各種予防接種の全額公費助成、妊婦健診に対する全回数公費助成などに引き続き取り組んでまいります。

保育所は、子どもたちの基礎的人格の形成や集団生活による自己の確立などに加え、健康・安全の確保を図る場所としての機能が求められる施設であります。

幾寅・金山保育所では、保育指針に基づき保育に努めておりますが、保育ニーズの多様化及び建設後38年を経過し施設が老朽化していることから子供たちの安全確保を図るため、

平成27年度までにそれぞれの地域環境を生かして二つの保育所の移転改築を進めてまいります。

幾寅保育所につきましては、就学前の子どもたちに、同じ施設で教育と保育を受けることができるよう幼保一体化施設として整備してまいります。金山保育所につきましては、小規模保育所として整備してまいります。

また、金山地区には特別養護老人ホーム「ふくしあ」がありますが、同施設は自宅で介護が困難な方々の入所施設であり、施設入所に至らない金山・下金山地区の高齢者が在宅で安心して、健康で明るい生活を送れるよう、介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供することができると整備してまいります。

この施設には保育所機能を備えた幼児と高齢者の共生型施設として整備してまいります、幼児と高齢者による世代間交流により、介護予防と豊かな人間性の涵養が期待できるものと考えております。

### ◆子どもたちの教育環境 生涯学習の充実

次に、次代を担う子どもたちの教育環境、生涯学習、スポーツ活動の

充実についてであります。

学校の耐震化については、平成22年度に南富良野中学校の校舎を改築させていただきました。学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごすところであり、災害発生時には、町民の緊急避難場所指定させていただいております。

各小学校校舎の耐震化は、各地域住民並びに保護者の皆様に町内の小学校のあり方の方針を説明する中で、本年度において、幾寅小学校校舎改築に係る基本設計及び実施設計を行い、平成25年度の改築に向け準備を進めてまいります。

金山小学校に通う児童の放課後の活動場所として開設しております「金山地区放課後子どもクラブ」について、長期休業期間と振替休業日も開設するよう保護者からの強い要望がありますので、その必要の予算を計上いたしました。

現在、南富良野高等学校では、各種資格を取得する際、受験料等の費用を支援しておりますが、南富良野中学校在学学生及び町出身の南富良野高等学校以外の高等学校の在学学生についてもこの支援対象にし、学習意欲の向上と就職や進学の後押しとするとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る制度の創設について、検討してまいります。

また、町出身者で、町の奨学金制度を活用して高校・大学等に進学し、卒業後町内の企業等に就職された場合、償還すべき奨学金を免除するなどの制度改正について検討し、町出身若年層の人口流失を防ぎ、町内企業等への就職のための人材確保に努めてまいります。

「友好の町」の盟約調印を交わしている沖縄県本部町と本町の子どもたちの交流を、今後も継続してまいります。高年齢者が学ぶ千里大学の方々に「本部町」に訪問していただき、両町のさらなる交流の輪を広げるための取り組みを進めてまいります。

さらに、町民皆様のスポーツ活動を奨励し、支援するために創設した「アスリート派遣補助金」やスポーツ少年団に対する活動支援に対しても、引き続き取り組んでまいりますとともに、落合地区の空知川スポーツリンクスのカーリング施設の機能充実のための整備を実施してまいります。

学校給食につきましては、成長期にある児童生徒の体位向上と健康増進に重要な役割を果たすことだけではなく、生涯にわたって健康な生活を送るためには、給食を通して食生活の正しい知識と食習慣を身につける、食育に関する「生きた教材」

として大切な役割を持ってまいります。この大切な役割を持つ学校給食については、安心して子育てできる環境のさらなる充実を目指し、保護者の経済的負担の軽減を図るため、できるだけ早い時期に無料化を実施してまいります。

さらに、老朽化した給食センターの改築を行い、安全で安心の学校給食の提供に取り組んでまいります。

子どもたちは、町の宝であり、地域の宝であります。子どもの教育環境の充実、子育て支援は、未来へのまちづくりであります。子どもと子育て家庭を応援することは、今や社会の責任であり、使命であります。私は、しっかりとその責任と使命を果たしていき、町政を推進してまいりますので、議員各位並びに町民皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

次に、情報通信網の整備についてあります。

### ◆情報通信網の整備

本町のインターネット利用環境については、高速ブロードバンドを町内全域に整備し、テレビの地上波デジタル整備と併せて難視聴地域の解消に取り組んでまいりました。今後の課題といたしましては、高

速ブロードバンドを利用して、災害時の情報提供や福祉サイトで活用できないかなど、様々な視点からさらなる有効活用の検討を進めてまいります。

### ◆住環境の整備

次に快適な住環境と生活に密着する道路整備についてであります。

本年3月末で時限となつておりましたマイホーム建設促進条例は、町内に住宅の建設を促進するとともに町外からの移住を推進し、定住人口の増加を目指す持家促進支援制度として、引き続き実施してまいります。本年度制度を活用し、2戸分のマイホーム建設予定がありますので、所要の予算を計上いたしました。

さらに、優良で低家賃の賃貸住宅の普及と建設を促進し、住宅の確保と定住促進を目的とする「民間賃貸共同住宅建設促進条例」に基づく、1棟11戸分の民間賃貸住宅建設予定がありますので補助金について、所要の予算を計上させていただきます。

生活道路の整備であります。幾寅市街地東2丁目支線道路について、来年度の舗装整備に向け、調査設計費の必要の予算を計上させていただきます。

### ◆東日本大震災被災者への支援

次に東日本大震災に対する支援協力につきましては、福島原発事故の影響により屋外での活動を制限されている福島県の子どもたちを対象に、健全育成と学ぶ権利の支援を目的とした、民間ボランティア団体の「福島の子どもを守ろう夏季林間学校実行委員会」が昨年度から開催している林間学校について、本年度も8月1日から7日までの日程で、かなやま湖スポーツ研修センターを拠点にして、林間学校が開催されることになりましたので、公共施設の利用をはじめ、送迎等の移動手段や体験プログラムの実施にあたり、全面的に支援協力してまいります。

### ◆南富良野町 第5次総合計画の策定

次に、南富良野町第5次総合計画の策定についてであります。

平成25年度から始まる向こう10年間の本町まちづくり計画、第5次総合計画の策定につきましては、既に町内各団体の代表者や一般公募の20名の方々の協力により「南富良野町第5次総合計画審議会」を設置させていただき、町民皆様のご意見やご要望を計画に反映させるため、まち

づくりアンケートや懇談会を開催して、本年度中に策定すべく取り進めているところであります。

この総合計画は、本町のまちづくりの最上位計画であることはもちろんですが、策定にあたり何よりも大切なことは、町民皆様が主体となり南富良野町の将来の姿を描くことでもあります。そして、少子高齢化の進行、地域主権の進展、各地区集落の課題など、これらの課題を全町民の皆様が認識し、解決に向けた共通する目標を定めて、「自助・共助・公助」の役割分担と町民皆様との協働体制で、計画を推進していくことが、何よりも重要であります。今、私が申し上げました「まちづくり」の基本的考え方について、この最上位計画に盛り込ませていただき、全力を挙げて実現する決意であります。

以上、町政に取り組む基本的な考え方と、今回提案いたしました補正予算案などの主なものについて、ご説明をさせていただいたところでありますが、執行に当たりましては、職員とともに町民福祉の向上に誠心誠意努力する次第であります。

議員各位をはじめ町民皆様のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。